

校長室だより

岸和田市立浜小学校 平成26年度4号

7月にはいり、1学期も終盤になりました。新しい学年になって3カ月。子どもたちの成長を振り返る時期になりました。個人懇談も予定されています。子どもたちの成長を認めつつ、1学期にやり残したことは急いでやり、ついつい間違ってしまった進むべき道は修正して、気持ちよく夏休みを迎えられるよう、ご家庭でも話し合う時間を持ってください。

先日、4、5、6年の高学年集会を行いました。
なかよしまつりをがんばって成功させた高学年の子どもたちに、次は何を目指し、浜小学校をどんな学校にしていきたいのか、学校のリーダー学年として何をしなければならぬのか考えようという話を高学年の教員からしました。
その中に「人は変わる！アカンと思うところは今日から今から変えられる！」という話がありました。子どもたちは、このまますすく伸びてほしい面と変わってほしい面の両面を持っています。このままではアカンと思うところを自分で変えようという気持ちをもった子どもになれるよう支援していきます。

振り返り

「振り返り」とは、「過去を顧みる」ときに使う言葉です。人は自分なりの節目で過去を振り返り、未来へと続く道を模索します。新しい学年が始まって3カ月、1学期が終わろうとしている今、今年度最初の節目です。

「人は変えられないが自分は変えられる」よく聞く言葉です。でも、「自分が変われば人も変わる」とも言われています。周りの人たちを変えたければ自分が変わることが早道だということです。「大人は子どもの鑑」とも言われます。私たち大人が自分を「振り返り」変わることで、子どもたちはもっと簡単に変われるのではないのでしょうか。

「過去は変えられないが未来は変えられる」これもよく言われる言葉です。過去を振り返ることでもいろいろ考えられることがあると思います。褒められることも後悔することもたくさんあります。それらをもとに、未来を目指しましょう。今日はこれからの人生の中で一番若い日です。遅すぎることはありません。学校でもこの1学期を「振り返る」時間をもちますが、おうちでも一緒に振り返って、「この1学期でできるようになったこと」をたくさんみつけてたくさん褒めてあげてください。そして、子どもたちの未来への夢を聴いてあげてください。

【掃除の時間】

掃除の時間に校内を歩いていると、手に雑巾を持って階段の滑り止めを丁寧に拭いている子、上靴を脱いで必死で廊下拭きをしている子、ほうきで隅っこの砂を一生懸命掃きだしている子、ほうきをさかさまに持って振り回しているの「ほうきの持ち方まちがってるよ。」と声をかけると慌てて掃き始める子、etc・・・。掃除の仕方に多少の差はあっても誰もさぼらず掃除しています。ほとんどの子は、きれいにしようという気持ちで掃除をしています。

浜小学校の校舎はとても気持ちのいい校舎です。私は岸和田で1番だと思っています。ここよりも後から改修工事をした学校もありますが、この方がきれいだと私は思います。それは、この5年間この校舎を掃除してくれて、大切にに使ってくれた子どもたちのお陰です。これからもこのままの気持ちのいい校舎で過ごせるよう、みんなで大切に使い丁寧に掃除しましょう。

もうすぐ、大掃除です。

【そして夏休み・・・】

クーラーの効いた部屋でばかり過ごすことのなく、のびのびすくすく育てるような夏休みになるといいですね。

はみ出せこころ

谷川俊太郎

はみだせこころ とび出せからだ

ひろびる世界を ひとりで学び

おいしい今日を みんなで食べる

友だちいっぱい 夢いっぱい

ぶらんこゆれて おしゃべりはずむ

ふるさとのむかし あそんで学び

おとなもいっしょ いきいき生きる

おともなもいっしょに 空をこぼる



【平和登校日】

毎年8月になると、テレビや新聞でも戦争の報道が増え、平和な日本で暮らしている私たちにも平和について考える機会を与えてくれます。

本校でも1学期の間に各学年に応じた平和について考えるためのビデオを観ます。また、8月6日の平和登校日にも子どもたちと一緒に平和について考える時間を持ちます。ご家庭でも平和について子どもたちと話をしてみてください。

平和っていいことだな

ぼくは、せんそうをするのがいやだなあ。だってせんそうをしたら、ぼくはころされるかもしれないから。もしそうになったら、友だちとあそべないし、すきなパイナップルやイチゴもたべられないし、ぐっすりねむれないから。平わってとってもいいなあ。大すきな人が、いつもそばにいてくれて、ごはんがたべれて、べんきょうもできて、あそべたり、ぐっすりねむれるって、「へいわってどんなこと？」という本に書いてあった。

(中略)

このまま平わでくらすたらいいのになあ。

そして、たくさんの人がしあわせになったらいいのになあ。そのためにもずっとずっとせんそうをしないでほしい。今せんそうをしている国は、すぐにやめてほしい。みんながたのしくわらってくらする平わなせかいになるように、ぼくは、ちょっとだけかんがえながら大きくなろうと思う。

(人権作品集 40 なかまより 市内小学2年生作品)